

第6回ワークショップ「編集会議」

第6回は編集会議を行いました。今まで出てきたアイデアを壁一面に張り出し、もう一度見つめ直し、さらに良くすることや足りていない考えがないかを確認しました。さらに、それぞれの暮らしの「現在地」を把握するために、参加者で現在「出来ているか」「出来ていないか」に投票を行い、暮らしのカードに対する相対的な評価を行いました。また、壁一面に張り出した110枚の暮らしを100枚に選定しました。



壁一面に貼られた暮らしのカード



現在値を知る



投票中



全てのカードに投票しています



100枚にする決戦投票

長期総合計画や未来の100の暮らしワークショップについては、右記へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
〒985-8501 塩竈市旭町1-1 市役所本庁舎2階
塩竈市市民総務部政策課総合計画策定室 担当：引地・佐藤
TEL:022-355-5284|FAX:022-367-3124|E-mail:soukei@city.shiogama.miyagi.jp

未来の100の暮らし



第6号

地元で働きながら子育てをする暮らし

workshop

地域には十分な保育定員が用意されている。市内や近隣にはさまざまな職種があり、親たちは働きながら子育てしやすい。通勤に長い時間を奪われないので子どもとゆっくり過ごす時間も確保できる。

通信

塩竈市では、まちづくりの方向性を描く新しい総合計画づくりを進めています。自分たちや子どもたちの世代が暮らしやすいまちに向かって、未来の100の暮らし方を考えるワークショップ（以下、WS）を開催しています。このWSで生まれた考えを新しい総合計画へ反映していきます。

第6回のWSを令和3年3月18日（木）に開催し、未来の暮らし方について意見交換を行いました。最終回となった第6回は、今までの会で生まれたアイデアである「暮らしのカード」を精査し、「100の暮らし」を生み出しました。この通信では、その一部を紹介しています。

出ていない。



暮らし
XXX

出ています。

勤めながら小商いを始める暮らし

会社に勤めながら、農林漁業や作家活動、加工食品製造など趣味や特技を生かせる分野で「小商い」を始めて副収入を得る。副業が軌道に乗る、会社を辞めて本業にする人も多い。

取 副業をはじめられる企業
副業できる企業

出ていない。



暮らし
XXX

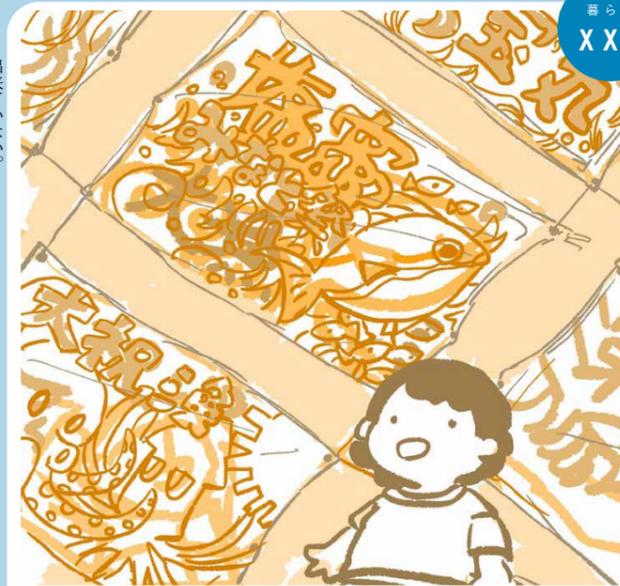
出ています。

土地の文化をアートで表現する暮らし

地域に根付いてきた生業や暮らしを掘り下げ、絵画作品や楽曲で表現し続けるアーティストがいる。作品は地域住民らにとって、土地の文化を捉え直す機会となる。

取 地域で活動するアーティストの作品を鑑賞する
作家活動の支援

出ていない。



暮らし
XXX

出ています。

海の恵みに感謝して大漁旗を掲げる暮らし

1年に1回、海の恵みに感謝する祭りが開かれる。港や市場には大漁旗が翻り、市民は海産物をお腹いっぱい食べる。地元酒蔵による振る舞い酒を楽しみにしている人も多い。

取 お祭りを企画・運営する | 日頃から海産物を食べる
酒蔵による振る舞い酒

出ていない。



暮らし
XXX

出ています。

初デートで本町を歩く暮らし

初めてのデートで本町を歩き、少し背伸びをしてシックなカフェでケーキを食べる。初々しい2人をカフェ店主も町の人もあたたかく見守っている。次のデートでは浦戸に行く約束をする。

取 本町でデートする
街並みの美化・整備

出ていない。



暮らし
XXX

出ています。

障害のある人がゆっくり安全に道を歩く暮らし

市内は自動車の往来が少なく、段差のない歩道や点字ブロックや音声案内も整備されており、高齢者や障害のある人が歩きやすい。市民には、困っている人をサポートする意識が根づいている。

取 障害があっても出歩ける
市内環境のユニバーサルデザイン化
交通機関の充実による脱自動車化

出ていない。



暮らし
XXX

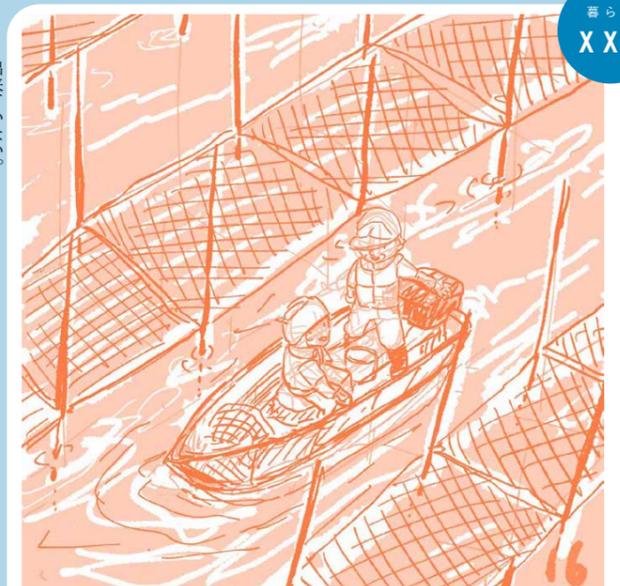
出ています。

おいしい水がある暮らし

水道から流れる良質な水を使って、自宅おいしい食事。乾いた喉を水道水で潤す市民が多く、清涼飲料水が売れない町になった。

取 水道水の水質維持
水道行政の適切な運営

出ていない。



暮らし
XXX

出ています。

浦戸に住んで漁師を目指す暮らし

漁師を志す人が浦戸に長期滞在しながら漁師の指導を受け、技術の習得と独立を目指す。その活動を支援するしくみがあり、地元漁師も後継者育成のために協力を惜しまない。

取 漁師を目指して学ぶ | 漁師の技術を伝承する仕組みづくり
宿泊施設の整備 | 就業サポート体制の整備

出ていない。



暮らし
XXX

出ています。

地域誌・ミニコミ紙で地域の情報を得られる暮らし

地域の個人や団体が発行する小メディアから、地域の情報を得る。投稿など紙面（誌面）上への読者参加も活発で、地域メディアが文化交流の場となっている。

取 地域誌発行者の活躍
配布手段の確保